

河村誠治教授 略歴・著作目録

略歴

1954（昭和29）年8月30日生まれ

- 1978年3月 山口大学経済学部卒業
- 1978年4月 民間企業勤務（銀行業，旅行業，～1984年8月）
- 1984年9月 中国人民大学政治経済系留学（～昭和62年7月）
- 1988年12月 通訳案内業法による通訳案内業試験合格第263号（中国語）
- 1990年3月 九州大学大学院経済学研究科修士課程（経済学専攻）修了
- 1990年3月 経済学修士（九州大学）
- 1992年3月 九州大学大学院経済学研究科博士後期課程中退
- 1992年4月 財団法人国際東アジア研究センター（～2000年3月）
- 1995年4月 財団法人国際東アジア研究センター主任研究員
- 1999年11月 長崎国際大学人間社会学部国際観光学科助教授（教員適格審査合格：文部科学省）
- 2000年4月 長崎国際大学人間社会学部国際観光学科助教授
（～2005年3月）
- 2003年11月 長崎国際大学大学院人間社会学研究科（修士課程）観光学専攻助教授（教員適格審査合格：研究指導教員M[Ⓔ]：文部科学省）
- 2005年4月 山口大学教授（経済学部）
- 2018年4月 山口大学経済学部観光政策学科長（～2019年3月）

【学部内委員会等】

- 2005年度 観光政策学科世話役
- 2007年度 経済学研究科運営委員会委員長
- 2010年度 就職支援委員会委員長

2011年度 観光政策学科世話役
2013年度 教務委員会委員長
2016年度 就職支援委員会委員長

【社会活動等】

国土交通省中国運輸局中国地方交通審議会委員
山口県観光戦略会議委員
「ねんりんピックおいでませ！山口2015実行委員会」専門委員会委員長
防府市観光振興推進協議会委員長
防府市観光振興懇話会委員長
防府市観光交流・回遊拠点施設「防府市まちの駅」指定候補者選定委員会委員
周防大島町指定管理者選定委員会委員長
周防大島町チャレンジショップ選考委員長
訪日観光に関する市場調査による訪日観光推進の課題・方策検討調査委員会委員長
中国地域における産業観光による地方振興方策調査委員会委員長
環境負荷に配慮した瀬戸内海スローツーリズム創出検討委員会委員
「吉備の国岡山」観光立県戦略検討会議委員
山口商工会議所「匠のまち創造支援事業補助金」審査委員

【主要担当科目】（令和元年度）

共通教育 中国語初級1 A 中国語初級2 A
経済学部 観光政策概論 観光産業総論 演習 I 卒業論文演習
経済学研究科 観光経済研究

【所属学会】

経済理論学会

研究業績目録

【著書】

1. 『中国語中級テキスト 中国経済を読む』（西村明・岩佐昌暲・河村誠治 共編著）白帝社，全104頁，1993年3月。
2. 『環黄海地域交流の現状と動向』（共編著）財団法人国際東アジア研究センター，全144頁，分担執筆7-29, 30-41, 66-76頁，1994年3月。
3. 『観光経済学の基礎』（単著）九州大学出版会，全178頁，2000年。
4. 『Sightseeing Economics Primer 観光経済学入門（韓）』（単著，徐正教 訳）Hanol Press Ltd，全244頁，2001年。
5. 『観光経済学の原理と応用』（単著）九州大学出版会，全272頁，2004年。
6. 『新版 観光経済学の原理と応用』（単著）九州大学出版会，全312頁，2008年。

【単著論文】

1. 「VI 中国国営企業の改革と財産権への挑戦」『中国の経済制度と統計・会計制度』九州大学出版会，181-202頁，1991年4月。
2. 「中国における公有制と個人的所有制」『経済論究第80号』九州大学九州大学大学院経済学会，83-102頁，1991年7月。
3. 「中国における生産的労働と国民的収入」『経済論究第81号』九州大学九州大学大学院経済学会，83-102頁，1991年11月。
4. 『環黄海経済圏の拠点都市の発展方向と国際協力のあり方（1）中国チーム』（共編著）財団法人国際東アジア研究センター，全229頁，111-134頁，1993年3月。
5. 「第3章 吉林省の経済と開発」『九州地方の対北東アジア経済交流に関する基礎的調査報告書』財団法人九州地域産業活性化センター，25-38頁，1993年3月。
6. 「中国の住宅制度改革」財団法人国際東アジア研究センターWorking

Paper Series (B) No.93-3, 1-26頁, 1993年5月。

7. 「中国公営住宅の商品化」『折尾女子経済短期大学論集第28号』折尾女子経済短期大学, 149-168頁, 1994年2月。
8. 「中国国有企業の福利厚生制度とその改革」財団法人国際東アジア研究センターWorking Paper Series (B) No.94-1, 1994年11月。
9. 「中国国際旅行業の経緯と現状」『折尾女子経済短期大学論集第29号』折尾女子経済短期大学, 89-109頁, 1995年3月。
10. 「グレーター香港の公営住宅」『東アジア・メガロポリス化の理論と実態』財団法人国際東アジア研究センター, 111-122頁, 1995年10月。
11. 「中国の動向と「環黄海経済圏」」『九州経済学会年報第33集』九州経済学会, 73-80頁, 1995年11月。
12. 「ツーリズムの概念と経済的意義」『折尾女子経済短期大学論集第30号』折尾女子経済短期大学, 109-125頁, 1995年11月。
13. 「環黄海経済圏と日本」『東アジアの社会と経済』（共著）大阪経済法科大学出版部, 149-166頁, 1996年3月。
14. 『環黄海地域の産業交流の拡大に関する調査報告書』（共編著書）全116頁, 23-43頁, 58-68頁, 通商産業省九州通商産業局, 1996年3月。
15. 「観光概論—観光の概念と観光産業の今日的意義」財団法人国際東アジア研究センター, Working Paper Series Vol.96-4 No.49 (B-24), 1-23頁, 1996年7月。
16. 「1990年代前半における日韓両国の中国環黄海地域への直接投資と貿易の概況」財団法人国際東アジア研究センターWorking Paper Series Vol.96-4 No.52 (B-26), 1-27頁, 1996年7月。
17. 「ツーリズムの概念と経済的意義」『九州経済学会年報第34集』九州経済学会, 73-80頁, 1996年11月。
18. 「東アジアと観光」財団法人国際東アジア研究センターWorking Paper Series Vol.96-13 No.58 (B-30), 1-24頁, 1996年12月。
19. 「東アジアで急成長の国際ツーリズム」『東アジアへの視点1997年6月号』

- 財団法人国際東アジア研究センター，23-33頁，1997年6月。
20. 「「銭もうけ観光論」とわが国国際観光」『北九州都市協会研究報告集—平成9年度活動報告—Vol.7』財団法人北九州都市協会，15-30頁，1997年7月。
 21. 「首鋼総公司に見た環渤海地域の産業・企業間協力」『東アジアへの視点1997年9月号』財団法人国際東アジア研究センター，117-129頁，1997年9月。
 22. 「台湾の基隆市との交流の可能性」『東南アジア主要都市の特性分析と北九州市との総合的交流の可能性に関する調査報告書』財団法人国際東アジア研究センター，1998年3月。
 23. 「東アジアの国際ツーリズムと瀬戸内」『瀬戸内海1998. No.13』瀬戸内海環境保全協会，33-38頁，1998年3月。
 24. 「中国の国際観光ホテル業」『折尾女子経済短期大学論集第33号』折尾女子経済短期大学，65-81頁，1999年1月。
 25. 「高雄市の現状と課題」『環境国際協力の推進と都市間交流について』財団法人国際東アジア研究センター，1999年1月
 26. 「第3次産業における中国国有企業改革—国有ホテルを事例として」『日中経協ジャーナル1999年3月号／No.64』財団法人日中経済協会，53-61頁，1999年3月。
 27. 「台湾の基隆市との交流の可能性」『東アジアへの視点1999春季特別号』財団法人国際東アジア研究センター，10-25頁，1999年3月。
 28. 「中国における国有ホテルと外資系ホテル」『日本観光学会誌 第35号』日本観光学会，23-28頁，1999年10月。
 29. 「東アジアと観光」『観光とコンベンション』（大矢野栄次編著）同文館，45-60頁，1999年12月。
 30. 「高雄市（台湾）の現状と課題」『東アジアへの視点1999年12月号』財団法人国際東アジア研究センター，220-231頁，1999年12月。
 31. 「中国の出国観光とわが国の課題」『長崎国際大学論叢 第1巻（創刊号）』

長崎国際大学, 89-99頁, 2001年3月。

32. 「産業連関論と地域観光振興」『長崎国際大学論叢』第2巻 長崎国際大学, 49-56頁, 2002年1月。
33. 「東アジア後工業化及地区経済振興—以日本主題公園為例」『日本與東亞經濟合作(中)』(共著書)(高増傑主編 張季風訳)世界知識出版社, 116-126頁, 2002年9月。
34. 「わが国インバウンド・ツーリズムと地方の課題」『長崎国際大学論叢 第3巻』長崎国際大学, 11-21頁, 2003年2月。
35. 「一元的アジアと多面的アジア」『長崎国際大学論叢 第4巻』長崎国際大学, 13-21頁, 2004年1月。
36. 「交流人口の拡大と持続可能な観光開発」『市場環境と流通問題』(鈴木武・岩永忠康編著)五絃舎, 50-65頁, 2004年3月。
37. 「観光資源開発の方向性」『長崎国際大学論叢 第5巻』長崎国際大学, 129-138頁, 2005年1月。
38. 「東アジアの経済発展と香港ディズニーランドの開園」『東亜経済研究第64巻第1号』山口大学東亜経済学会, 27-36頁, 2005年7月。
39. 「わが国地域の観光振興を考える」『山口経済学雑誌 第55巻第5号』山口大学経済学会, 173-186頁, 2007年3月。
40. 「「観光産業の国際競争力の強化」という国策を考える」『東アジアへの視点 2008年12月号, 第19巻4号』財団法人国際東アジア研究センター, 2-14頁, 2008年12月。
41. 「東アジア志向のビジット・ジャパン・キャンペーン事業の課題」『東亜経済研究 第67巻第2号』山口大学東亜経済学会, 179-191頁, 2009年1月。
42. 「わが国のテーマパーク建設ラッシュを振り返って—テーマパークと地域振興」『山口経済学雑誌 第58巻第4号』山口大学経済学会, 1-10頁, 2010年3月。
43. 「産業分類と観光産業」『山口経済学雑誌 第58巻第6号』山口大学経済学会, 101-123頁, 2010年3月。

44. 「観光統計の国際標準化と国内観光の振興」『山口経済学雑誌 第60巻第6号』, 山口大学経済学会, 101-123頁, 2012年3月。
45. 「再考ツーリズム・サテライト・アカウント」『山口経済学雑誌 第61巻第6号』 山口大学経済学会, 167-194頁, 2013年3月。
46. 「富と観光業—観光業は富を生むか—」『山口経済学雑誌 第62巻第5・6合併号』 山口大学経済学会, 83-119頁, 2014年3月。
47. 「富裕国家和其应采取的旅游政策—以日本的“旅游立国”为例」『旅游发展与社会转型 (中)』 复旦大学出版社, 2-12頁, 2015年12月。
48. 「わが国大学における観光教育の概況と課題」『山口経済学雑誌 第65巻第3・4合併号』 山口大学経済学会, 53-66頁, 2016年11月。
49. 「日本大学旅游教育的概況和课题」『旅游创新与人才培育 (中)』 复旦大学出版社, 2-11頁, 2018年6月。

【共著論文】

1. 「北部九州におけるテーマパークの現状と経済波及効果」(河村誠治, 野村淳一との共著論文)『海峡圏研究 第1号 (創刊号)』日韓海峡圏研究機関協議会, 全22頁 (69-85頁), うち69-75頁, および84-85頁を分担執筆, 2001年8月。
2. 「九州のテーマパーク分析と地域振興」(河村誠治, 野村淳一との共著論文)『東アジアへの視点』2002年3月号, 財団法人国際東アジア研究センター, 全22頁 (61-83頁), うち61-71頁および82-83頁を分担執筆, 2002年3月。
3. 「日韓海峡圏地域への国際観光客呼び込みのための条件と課題」(河村誠治, 乾弘幸, 野村淳一の共著論文)『海峡圏研究 第2号』日韓海峡圏研究機関協議会, 全26頁 (1-25頁), うち1-8頁および24-25頁を分担執筆, 2002年6月。
4. 「わが国および北部九州における観光振興と産業空洞化」(河村誠治, 野村淳一の共著論文)『海峡圏研究 第3号』日韓海峡圏研究機関協議会,

全26頁 (14-40頁), うち14-21頁および37-40頁を分担執筆, 2003年9月。

5. 「九州地域の観光振興と域内自給率の低下」(野村淳一との共著論文)『東アジアへの視点』2003年9月号, 財団法人国際東アジア研究センター, 全18頁 (61-79頁), うち61-67頁および75-79頁を分担執筆, 2003年9月。
6. “A historical perspective and empirical analysis on development of theme parks in Japan” Seiji Kawamura, Tadayuki Hara, *Worldwide Hospitality and Tourism Themes*, Vol.2 No.3, Emerald Group Publishing Limited (2010), 238-250頁。

【報告書】

1. 『東アジアへの視点1999年2月特別号—東アジア経済の趨勢と展望』[第3章 中国] 財団法人国際東アジア研究センター, 全123頁, うち18-21頁を分担執筆, 1999年3月。
2. “East Asian Economic Perspectives: Recent Trends and Prospects for Major Asian Economies Chapter3 : China” *EAEP—East Asian Economic Perspectives, Feb.1999. Vol.11. Special Issue*, The International Centre for the Study of East Asian Development, Kitakyushu, 全124頁, うち19-22頁を分担執筆, 1999年3月。
3. 「アジア経済の現況と国際観光の動向」『第5回九州国際観光サミット会議録』九州国際観光推進実行委員会, 九州陸運協力会, 15-22頁, 1999年10月。
4. 『東アジアへの視点2000年春季特別号—東アジア経済の趨勢と展望』[第3章 中国] 財団法人国際東アジア研究センター, 全175頁, うち23-28頁を分担執筆, 2000年3月。
5. “East Asian Economic Perspectives: Recent Trends and Prospects for Major Asian Economies Chapter3 : China” *EAEP—East Asian Economic Perspectives, Feb. 2000. Vol.11. Special Issues*, The International Centre for the Study of East Asian Development, Kitakyushu, 全177頁,

うち25-30頁を分担執筆，2000年3月。

6. 東アジアの発展と香港ディズニーランドの開園『*East Asian Forum* 第16号』山口大学東亜経済研究所，1-4頁，2005年4月。
7. 記念講演「観光資源開発の方向性」萩から日韓交流の過去・現在・未来を考える』『第3回 日韓学生シンポジウム報告書』山口大学経済学部，11-32頁，2006年3月。
8. 「東アジアの発展と香港ディズニーランドの開園」『第13回 東アジア国際シンポジウム報告書』（セイジ・F・ナヤ&神谷俊広&アルフレド・ベルディグエロ・バレラ&パウル・イマダ・イボシ&クリストファー・M・エドモンド&河村誠治）山口大学経済学部東アジア国際シンポジウム実行委員会，86-96頁，2006年3月。

【随筆等】

1. 「お祭り・行事と近代化を考える」（随筆）読売新聞朝刊「論点ふくおか」，1995年2月11日。
2. 「効率よりも効果」『東アジアへの視点1996年6月号』財団法人国際東アジア研究センター，9頁，1996年6月。
3. 「下からの東アジア論—激変する「いま」をルポ」（書評）（朝日新聞西部本社編著（1998）『東アジア—新時代の海図を読む』），図書新聞2409号，1998年10月10日。
4. 「東アジアの工業化とわが国地域の観光振興」『九州マーケティング・アイズ 2006年夏7月号vol.38「九州の観光を考える」』社団法人九州マーケティング協会，2-4頁，2006年7月。
5. 「観光客の消費で地域の再生はなるのか」『ちゅうごく産業創造センター会報 No.74. (2007.8.22)』財団法人ちゅうごく産業創造センター，4-7頁，2007年8月。
6. 「観光教育・研究のあるべき姿を模索して—セントラル・フロリダ大学ローゼンカレッジ訪問記—」『山口経済学雑誌 第56巻第4号』山口大学

経済学会, 135-150頁, 2007年11月。

7. 「フランス料理研究への視座—外交儀礼時の正餐としてのフランス料理の研究ノート—」『*East Asian Forum* 第34号』山口大学東亜経済研究所, 3-4頁, 2017年3月。
8. 「「惨め」からバラ色へ 長期的な財政支援が必要」『月刊 金融ジャーナル 平成29年7月号 2017 VOL.58 NO.7』金融ジャーナル社, 70-73頁, 2017年7月。